

第 11 次すこやかプラン 21 市民アンケート調査概要

1 実施アンケート調査

(1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

保険者が、一般高齢者、介護予防・日常生活支援総合事業対象者、要支援者を対象に、日常生活圏域ごとに、地域の抱える課題の特定（地域診断）に資することなどを目的として実施します。
からだを動かすこと、食べること、毎日の生活、地域での活動、たすけあい、健康などに関する項目の調査

(2) 在宅介護実態調査

介護保険事業計画の策定において、これまでの「地域包括ケアシステムの構築」という観点に加え、「介護離職をなくしていくためにはどのようなサービスが必要か」といった観点を盛り込むため、「高齢者等の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスの在り方を検討することを目的として、主に在宅で要支援・要介護認定を受けている方を対象とした調査

2 調査の目的

介護サービスの質の向上を目的に、生活の実態や介護保険に対する考えや意見などを把握するためのものであり、「第 11 次芦屋すこやか長寿プラン 21」の策定に向けた基礎資料とすることを目的とする。

3 調査実施期間・発送日

発送日	令和 8 年 1 月 13 日（OR 14 日）
回答期間	令和 8 年 1 月 19 日～2 月 6 日（3 週間）
提出期日	令和 8 年 2 月 6 日

4 対象者

(1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

65 歳以上の市民（要介護 1 から 5 の認定者を除く） 3,000 人

※ ただし、5 圏域（西山手・東山手・精道・潮見・打出浜）の人口分布率に応じて、5 圏域ごとの人数を配分する。

(2) 在宅介護実態調査

在宅で生活をしている要支援・要介護認定を受けている人 2,000 人

※ ただし、5 圏域（西山手・東山手・精道・潮見・打出浜）の人口分布率に応じて、5 圏域ごとの人数を配分する。

5 アンケート調査実施・回答方法

(1) 郵送

記入（回答）済みのアンケート調査票を同封の返信用封筒で郵送提出

(2) インターネット回答

調査票表紙に記載の二次元コードを読み取り、インターネットで回答

6 第 1 1 次アンケート調査票項目の主な変更点

- 問 8 認知症施策 → アンケート設問を増加
- 問 9 終活事業 → 新規追加

【参考資料】

- (1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 … 資料 6-2
- (2) 在宅介護実態調査 … 資料 6-3

7 検討事項（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査・在宅介護実態調査共通）

(1) 表中の意味

ア マーク

マーク	内容	増減の可否	変更の可否
必	国で決められたアンケート必須項目	不可	変更不可
オ	国で作成させたアンケート項目のオプション項目。各自治体が項目に入れるか選択できる項目	削除のみ可	変更不可
独	芦屋市独自の項目	増減可	変更可

イ 赤色の文字

前回からの変更

(2) 検討していただきたい内容

下記ア～ウの視点で確認をお願いします。

ア アンケートに追加すべき項目があるか

イ アンケートで文言修正を含め修正をすべき項目があるか（独のみ）

ウ アンケートの総問数が多いため削除しても良いアンケート項目があるか